

地域の実情と課題

本市における女性の就業率は全国平均と比べて低く、年齢階級別労働力率は、全国よりも深いM字カーブとなっている。令和元年に行った市民意識調査では、「女性が就労を継続するために必要なことは」という設問に対し、「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が36.5%と多くの割合を占めている。

これに対して、本市では令和元年度からテレワークによる就労支援事業を行ったところ、市民ニーズが非常に高く、本地域における女性就労支援としてのテレワークは有効的であることが分かっている。女性が就労を継続するためには、女性と事業所の双方に柔軟な働き方を推進し多様な労働モデルを提示する必要がある。

目的・目標

- 【目的】
- 女性を対象に、テレワーカーとしての育成と就労支援を行い、eラーニングを活用することで時間や場所にとらわれず効率的に女性のスキルアップを図る。また、自営型及び雇用型テレワークでのビジネスマッチングを行うことで、女性のテレワークでの就労を支援するとともに、市内事業所における労働力不足の解消を図る。
- 【目標】
- ・セミナーの延べ女性参加者数:70人
 - ・セミナー・マッチングイベント参加女性の就業率:45%

事業の特徴

講座・eラーニングでテレワーカーとして必要不可欠な知識・スキルを学ぶだけでなく、事業番号②女性の起業・就労支援事業で個人事業主としての意識の定着をあわせて行うことで、女性が自立して働けるよう支援した。また、育児・家事に追われる女性に配慮してメタバースを活用した24時間参加可能なビジネスマッチングイベントを開催し、柔軟な働き方の実現を図った。

連携団体

- ①岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会
岡崎商工会議所、連合愛知三河中地域協議会
岡崎信用金庫
- ②愛知県

事業の効果

セミナー女性参加者数は延べ263名と目標を大きく上回ったが、追跡調査での就業率は6.7%と目標に届かなかった。マッチングイベントについては今年度初めてメタバースを活用した開催とし、時間・場所を選ばず自由に参加できる点良かったとの声がある一方で、操作方法や面談に戸惑う声もあった。アンケート結果等では全体的に満足度が高く、女性のテレワーカーとしての就労ニーズが高いことがわかった。

今後の課題

女性がテレワーカーとして継続的に就労できるよう、適切なビジネスマッチングの手法を考えるとともに、女性が自立して働くための支援や、事業者のテレワーク可能な仕事の開拓を支援していく必要がある。

テレワーク(デジタル人材育成)推進事業

テレワークでの働き方や基礎的なスキル、ビジネスマナー等テレワーカーとして必要不可欠な知識・スキルを学ぶ講座・eラーニングを実施。また、24時間参加可能なメタバースを活用してビジネスマッチングイベントを開催。

テレワーク基礎講座概要

【日 程】

第1回:9月13日(水) 第2回:9月26日(火)
第3回:10月5日(木) 第4回:10月18日(水)
第5回:11月1日(水) 第6回:11月8日(水)
アーカイブ配信:各講座の翌日～11月17日(金)

【参加人数】 延べ202名

【会 場】 オンライン

【内 容】 コンタクトセンターの実践事務や資料作成などビジネス全般で活用できるスキル

ビジネススキル講座概要

【日 程】 11月21日(火)

【参加人数】 延べ34名

【会 場】 オンライン

【内 容】 ビジネスマナー、起業基礎知識

キャリア相談:

令和6年1月12日(金)に「女性のための就職説明会」の会場ブースにて、キャリアカウンセラーによるキャリア相談・カウンセリングを実施

キャリアデザイン講座概要

【日 程】 第1回:11月29日(水)

第2回:12月6日(水)

【参加人数】 延べ27名

【会 場】 オンライン

【内 容】 仕事・環境・自己理解、キャリアデザインの構築

ビジネスマッチングイベント概要

【日 程】 12月11日(月)～15日(金)

【参加人数】 26名

【会 場】 オンライン

【内 容】 メタバースを活用したテレワーカーと事業所のマッチングイベント

